

一般質問

一般質問とは

議員が市政運営全般にわたり、その執行の状況や将来の方針、考え方などを市側に質し、答弁を求めることをいいます。平戸市議会では定例会毎に実施しており、答弁時間を含めて、1人あたり60分の持ち時間が与えられています。



3月定例会では、2月27日～28日の一般質問で7人の議員が登壇。教育を中心に、生活環境・総務・福祉・商工業・農林業・消防行政などの課題への対応策や今後の計画・進捗などについて市の考えを質すほか、議員それぞれの視点からの提案などについて議論が交わされました。

※各議員の二次元コードから一般質問の録画放送をご覧ください。
※文責はいずれも本人です。

●教員の負荷軽減策と平戸流教育方策

近藤 芳人（新時代）



Q 教員の過剰な負荷が問題視されて久しい。そこで、授業以外の業務支援を行う職員を採用できないか。提出物確認や採点、プリント作成、コピー、給食支援、清掃支援、電話対応、登下校時の安全指導、掲示物作成・貼替、集金、年度初めの諸業務など。

教育長 「補習等のための指導員等派遣事業」（文科省）内の「教員業務支援員配置事業」に該当し、県内11市町で適用している。県内の事業のため、平戸市としては状況を見ながら検討したい。

Q 国3分の1、県3分の2負担なので市の持ち出しは不要。また、適用校勤務時はやらなくてよかったのに、平戸に異動したらやらなければならぬというのは、勤労環境として大きな格差だ。異動希望にも大きく影響しうる。県内全市町で統一した施策とすべく強く要望すべし。

市長 首長連携会議や市長会でも協議し、県に働きかけたい。

Q 次に、放課後や休日に授業復習や宿題を支援する仕組みができるか

いか。つまりぎを減らし、履修内容の定着につながる。教員にそんな余裕はない。地域に委託組織を作り支援を実現すべきだ。

教育長 放課後や長期休業日などに児童・生徒の宿題を支援している地域がある。委託できる団体や人材が、各地区にあれば依頼可能かもしれないが、現状は難しい。現在活躍している皆さんの力をさらに借りることができるよう働きかけたい。

Q 奉仕的に活動する皆さんには心から敬服するが、私の提案は、全市民的に等しく安定的に目的を果たすためにどんな仕組みが必要かということ。「補習等のための指導員等派遣事業」内に「学習指導員等の配置」というメニューがあり、「教員業務支援員配置事業」と同様、市の負担はない。熱意を持って県に要望すれば財源は生み出せる。市教委が後ろ盾となり「委託できる団体や人材を全ての地域に作っていく」方向に動くべし。

教育長 両提案とも学校にとって非常にありがたい。検討、要望したい。

- 飼い主のいない猫を増やさないために
- 愛護動物の遺棄は犯罪との周知徹底を
- 校務DX化で効率化と先生のICT活用推進



針尾 直美（新波クラブ）



Q 地域猫活動の実績は。

市民生活部長 飼い主のいない猫（野良猫）の過剰繁殖や周辺的生活環境悪化を防止するために、不妊化手術を行い、地域の理解を得て餌の世話や糞の始末などを管理しながら、将来的に飼い主のいない猫を減らしていくという「地域猫活動」で、令和4・5年度合わせて19頭の不妊・去勢手術を実施（県事業・無料）している。

Q 相談数から考えると2年で19頭は少なすぎる。手術費用が高額で個人で負担するのも難しい。市として一歩踏み込んだ対策はできないか。

市民生活部長 保健所やボランティア団体との意見交換などを通じ実態を把握し、課題や問題点を整理して、市として何ができるか検討する。

意見 飼い主のいない猫を増やさないためには不妊化が必要。県内でも不妊化に対して助成する市町が増えている。平戸市でも不妊化に

対する助成をはじめ市民に寄り添った支援を検討していただきたい。また、愛護動物の遺棄は犯罪であることの周知徹底も願っている。



Q 校務のDX化の取組状況は。
教育長 県が推奨する校務支援システムを導入し、情報のデジタル化、他市町とのデジタル通信を行っている。

意見 校務のDX化は、先生の働き方改革につながり、ICTに苦手意識を持つ先生も日々の活用で、使うことに慣れる。平戸市が校務のDX化で県下一となることを期待する。



- 社会体育施設のあり方について
- 高齢者いきいきお出かけ券について
- 職員採用について



井元 宏三（新波クラブ）



Q 社会体育施設、特に施設の老朽化が激しい市営相撲競技場、利用者の多いライフカントリーについて、現状の問題点と今後の対応について尋ねる。

教育次長 相撲競技場は、土俵などの整備、付随設備などの不足があり、今後市有地での新たな建設、ほかの社会体育施設との集約など、さまざまな選択肢を視野に入れ検討する必要がある。また、ライフカントリーは、屋根付きのスタンド席や更衣室を備えた控室がない事、芝生の張り替え時に使用できなくなるなどの課題がある。今後は、利用者目線に立った施設の整備、設備の充実を図り、より多くの利用につながるよう努めていきたい。

Q 「高齢者いきいきお出かけ券」について、今年度の改正点は。

福祉部長 手続きの簡素化と利用可能施設および加算対象の拡大、申請書の記載内容の簡素化および封筒での申請から葉書での申請への変更をしている。

意見 近年の物価高騰で交通費、施

設使用料なども上がっていることから、その分の加算も、今後検討をお願いする。

Q 「平戸アゴ」のブランド化において「アゴ」と言えば「平戸」と認識してもらうため、どのような手法を考えているのか。

文化観光商工部長 情報誌やメディア、ウェブ広告、SNSなどによる情報発信に加え、メディアへの露出を意識したイベントの開催など、さまざまな手法を組み合わせることでPR効果が高まると考え令和7年度に平戸あごを集中的にPRする予算を計上している。

Q 近年、公務員離れと言う話を聞いているが、平戸市においての職員の応募および採用の状況についてどのような状況か。

総務部長 一般事務職・消防職は一定数採用できているが、技術職はなかなか応募者がいない状況が続いており、土木技師については充足できていない。

意見 こちらから出向く積極的募集を行い、少しでも早期に技術職の充足を行うようお願いする。

●新年度予算と行財政運営上の諸課題について
●生涯学習・生涯スポーツの推進について



吉住 龍三 (創政ひらび)



Q 新年度の予算編成を終えた現在の財政状況と新年度予算の特徴、見えてきた課題は何か。

市長 各種施策の推進のため効果的な事業予算へ配分を行った。この結果、市町村合併後最大の当初予算となった。令和5年度までの財政健全化指標は一定の良好な状況を保っていたが、今後は、経常収支比率の上昇など財政運営の硬直化が懸念され、厳しい局面を迎えている。

Q 財政調整基金(以下「財調」)は12億6千万円の繰り入れ(取り崩し)をしている。通常の収支で均衡が図れるよう編成するのが予算編成の原則だが、今の状態は収支均衡が図れず健全性が失われたという理解でいいか。

財務部長 均衡が保てていない。
Q 令和6年度の決算見込みでは、財調取り崩しはどれくらいか。

財務部長 4億円〜5億円の財調取り崩しが必要と考えている。

Q 12月議会では(財政は)健全性を保っているという話だった。いつの時点で(財政状況が)悪くなった

のか。

財務部長 国の補正予算に伴う地方交付税の再算定の通知があった令和6年12月末。

Q 今回の財調取り崩しは「財政危機宣言」を行った平成18年度当初予算の財源不足額14億4千万円に匹敵する。状況の違いは。

財務部長 (当時は)各市町村も基金を持ち合わせておらず、このままでは財政再建団体に陥るという状況で「財政危機宣言」を行った。今回は、これまでの財政健全化で余裕ができた基金を使いながら、新たな課題を解消するために基金を活用している。

意見 当時は合併効果で人件費削減など健全化が図られた。まだ課題が多いので早期の健全化を。

Q 新教育長は、本市の生涯学習の推進を、今後どのような考え、スタンスで臨まれるのか。

教育長 誰もがいつでもどこでも楽しく学習する機会を得、仲間の輪を広げ、その中からリーダーが生まれ、明るく元気な地域づくりにつながるよう努めたい。

●若い世代が将来に関心を持つためにも
高齢者支援が充実したまちづくりを



綾香 良浩 (新蒼会)



Q 健康状態や経験など個々の状況に応じた支援ができれば、何歳になっても元気で過ごすことのできるまちづくりにつながる。シニア層に対する就労支援は。

福祉部長 地域包括支援センターにおける総合的な高齢者相談や、ハローワークなどの関係機関へつないでいる。

Q 健康寿命の延伸を図る対策の重要性は、ますます高まっていく。必ずしも高齢者のみを対象とする事業ではなくても、意識すれば他課の事業と連携して取り入れられるものもある。健康増進の支援として、どのような方針で取り組むのか。

福祉部長 他の事業や活動、地域との連携を密にし、より多くの皆さんの参加と関わり合いによる支援に結びつくよう取り組む。

Q 近所や地域との関係が希薄になれば、災害時の助け合いや緊急時の対処にも遅れが生じる。よりよい地域社会をどのように構築するか。



平戸よかよか体操の貸出用DVD

●学校給食センター環境整備について
●学校給食センターの統合について
●高越地区災害復旧工事について



山田 能新 (新蒼会)



Q 地球温暖化によって年平均気温が上昇を続けていて、今後さら

に気温が上昇することが考えられる。そこで、給食センター調理現場で働く人は大変と聞く。特に夏場でも火を扱うので耐えがたいらしいが、職場の環境改善はできないものか。

教育次長 地球温暖化の影響で猛暑が続いている。学校給食共同調理現場で、空調設備など暑さ対策が十分でない施設があるが、環境改善に向けた大規模改修などには多額の費用が要する。

Q 多額の改修費用を要したり、児童生徒数の大幅な減少が予想される中、学校給食センターを1つに



給食センター



高越地区の寸断された道路



高越地区の崩れた橋梁

統合し空調設備の整った施設をつくる方が良いのでは。
教育次長 施設の老朽化、児童生徒数の減少は今後も続くと思われ、平戸市公共施設等総合管理計画および平戸市立学校等適正規模・適正配置基本方針に基づき、今後の離島を除く調理場の集約を検討している。

Q 昨年11月の豪雨で甚大な被害を受けた高越地区災害復旧工事の進捗状況は。

教育次長 県によると、寸断された県道の復旧工事は、まず、仮設道路の3月末完成を目指している。本線の復旧工事は令和7年度中に着工予定とのこと。

●市長5選不出馬
●消防中南部出張所について



松尾 実 (創政ひらび)



Q 10月の選挙には5選出馬しないと表明されたが、まだ若く健康である。その経緯を尋ねる。

市長 市長という権力の座に居続けると、組織の中にたまっていく長

年の慣れや思い込みが転じて、おごりや油断となつてミスや停滞が起こり得ること。次に、私の任期中に与えられた行政課題に一定の

めどが立ったこと。基幹産業である農林水産業や観光業などで、移住者を含めた担い手の確保や生産

から流通販売までの戦略を積極的に展開できた。本市は、地形的に

集落や山合いが海岸線に沿って点在しており、行政サービスの地域

間格差の是正が大きな課題だった。中でも医療提供体制の整備、消防

防災と緊急搬送体制、健康スポーツ施設などにおいて、一定の事業

達成や方向性が見いだせた。
Q 消防における中南部出張所の配置方針について考えを尋ねる。

市長 住民の生命財産を守ることは、行政の最大の課題である。このこ

